事務事業評価シート　平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

所管課	商工観光課	担当班	観光班

事務事業名	コード	27800	観光事務費（観光物産協会への支援）	予算科目	会計	款	項	目
					一般	7	1	3

施策体系					
基本施策	3	観光の振興	根拠法令	特になし	
施策の展開	7	観光情報発信の推進	戦略事業	33	旭市観光物産協会への支援
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成 ＿ 年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 平成 ＿ 年度まで	観光事業者や観光イベントを開催する実行委員会が加盟している観光物産協会を支援するとともに、観光物産協会と連携して観光情報等の効果的な発信、PRを行い観光客の誘致を図る。観光物産協会はイベント等でのPR活動補助を行う。 職員の業務内容：観光協会等への補助金交付

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
旧市町にあった観光協会が市町村合併後も並立しており、市からの助成は各団体ごとに行われていた。そのため、重複する経費や事務手続きを見直すことができず、経費や時間のロスが発生していた。	平成27年に旭市観光物産協会設立。従来の観光協会は下部組織として内包され、新たに協会事務局の事務員を採用、事務及び協会会員の行うイベントのサポートにあたる。これにより、市商工観光課と物産協会の業務の分担が可能となり、従来以上に市の観光PRや情報発信が行えるようになった。	「物産協会の具体的活動が見えない」や「物産協会へ加入することのメリットがわからない」などの声が会員からもある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（30年度の決算）		単位：千円
1.補助金等	14,440	旭市観光物産協会補助金
5.その他	555	旅費・需用費・役務費・負担金・公課費など

② 特定財源の内訳（30年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	「マップル旭」のリニュアル版作成のため増加

		単位	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 補助金等	千円	7,592	10,488	11,600	14,440	13,601
		千円					
		千円					
		千円					
	5. その他	千円	1,159	711	754	555	1,358
	事業費計（A）	千円	8,751	11,199	12,354	14,995	14,959
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円		500			
	5. 一般財源	千円	8,751	10,699	12,354	14,995	14,959

従事職員数	常時	0 人	最大	1 人 ×	12 日 ＝	延べ	12 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

30年度実績（30年度に行った主な活動）

観光物産協会への助成

③ 活動指標名		単位	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	31年度（計画）
ア	観光協会等への助成額	千円	7,593	11,727	11,600	14,440	13,601
イ							

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）	
対象	観光協会、宿泊組合
意図	観光協会等を支援することにより、民間主導の観光イベント開催、PR活動が積極的に行われ市観光発展の一翼を担う。
対象	イベント等に参加する市内外の方
意図	市内外の方に旭市の魅力を広く知ってもらう。

④ 成果指標名		単位	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	31年度（計画）
ア	観光協会、宿泊組合加入者数（1団体も1人とカウント）	人	56	81	92	108	120
イ	観光物産協会職員によるイベント等でのPR活動日数	日	4	5	7	12	13

(4) 事務事業優先度評価の結果

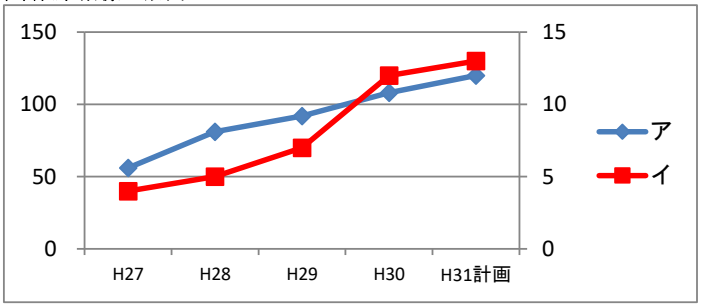
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①		(3)	
	②③			
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ					
成果指標ア	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	
成果指標イ	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向	比較	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 31計画
	ア	△36	25	11	16	12
	イ	4	1	2	5	1

③ 今年度取組事項（31年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
通年	・市と連携した観光PR ・レンタサイクル事業の積極的なPR ・旭市推奨認定品事業の実施

今後の方向性
- ☐ 拡大　☐ 現状維持　☐ 見直し
- ☑ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

限定せず

自主事業での収入増による補助金額の減額を図るようにする。